

九州観光推進機構 活動レポート

— 2013年3月号 —

感動がある。物語がある。九州



◆ 2月のピックアップ

○ 機構HP・プロ野球等「キャンプ情報」サイトをオープン（2月1日）

冬でも比較的温暖な九州では、2月からプロ野球、プロサッカー（Jリーグ）の春季キャンプが実施されています。当機構では、このようなキャンプの観戦客を誘致するため、機構HP「九州旅ネット」に宮崎県、鹿児島県、熊本県、長崎県、大分県の「キャンプ情報」サイトをオープンし、最新のプロ春季キャンプ情報を発信しています。<http://www.welcomekyushu.jp/camp/index.html>



○ JNTO「台湾訪日市場報告会」への参加（2月1日：東京）

「JNTO台湾訪日旅行マーケティング事業」への参加者を対象に開催された報告会に出席し、財団法人交流協会台北事務所経済部の山田主任によるプレゼンテーションを聴講しました。「個人旅行は台湾市場全体の約6割を占めるが、今後も一気に個人旅行化することはない」「LCCの参入は今のところ通常の団体ツアーの販売には影響なし」「台湾南部は北部・中部より親日意識が高く、高雄を重要な市場として意識することが必要」「訪日旅行のリピータ率が7割を大きく上回る台湾では、あるテーマのもとどこで何を体験したかといった深みのある観光素材への需要が高まっていく」「お得感を味わえるもの、友人知人に自慢できるものが需要喚起の要素であり、PRしたい観光素材も『そのときにしか見られない』に絞り込むことが大事」など大変業務の参考になるお話を聞くことができました。

○ 中国重慶市教育関係者等を招請（2月1日～6日：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分）

重慶市の学校及び管轄する教育局等の教育関係者や教育旅行を取扱う旅行会社の社員9名を招請し、ファムトリップを行いました。豊富な自然や文化、ロボット・エコなどの最先端技術、農家民泊体験など九州の有する魅力は高評で、修学旅行の誘客が期待できます。



○ 「第6回九州観光ボランティアガイド大会 in 佐賀」を開催（2月5日～6日：佐賀）

2013年2月5日（火）～6日（水）、佐賀県（主会場は佐賀市・ホテルニューオータニ佐賀）において、『第6回九州観光ボランティアガイド大会 in 佐賀～ゆつつら～とさが』を九州各県・県観光連盟等で構成する「九州観光ボランティアガイド大会実行委員会」の主催、国土交通省九州運輸局の後援、佐賀県観光ボランティアガイド連絡協議会の協力により開催しました。大会には佐賀県知事古川康氏、国土交通省九州運輸局企画観光部長橋本昌典氏のご臨席のもと、九州の観光ボランティアガイド関係団体から95団体、過去最多の501名（実行委員会関係者を含む）の参加がありました。



大会では、初日に、嶋田昌子氏（NPO法人横浜シティガイド協会副会長）による基調講演（テーマ：「私のボランティアガイド人生～横浜シティガイド協会の事例から～」）を行った後、4分科会に分かれての小グループ討議、九州4県（佐賀、熊本、鹿児島、福岡県）のガイド団体による事例発表、夜には情報交換会を実施しました。2日目は、パネルディスカッションを行った後、「神埼・鳥栖」「佐賀市内」「鹿島・嬉野・武雄」「有田・伊万里」「唐津・多久・小城」の5つのコースに分かれて、地元観光ガイドの説明による現地視察を実施しました。

参加者アンケートでは、回答者の95%の方から「今回大会は参考になった」との評価でしたが、特に今回小グループでの話し合いに変更した分科会については、多くの参加者から高評価を得ました。次回の第7回大会は、長崎県で開催する予定です。



○ タイ・海外旅行博に出展「TITF 2013 #12」（2月14日～17日：バンコク）

年2回（8月及び2月）に開催されるタイ・バンコク最大の一般消費者向けの旅行販売フェアに出展するもので、九州の豊富な観光資源をタイの消費者に直接アピールするほか、現地旅行会社との連携を深めて、九州旅行商品の売上増に努めました。

○ 「まるごと九州・沖縄～春の大観光展～」を開催（2月16日～17日：広島）

「情熱祭り！まるごと九州・沖縄～春の大観光展～」を九州各県、日本観光振興協会九州支部と連携し、イオンモール広島府中で開催しました。

九州・沖縄8県のレディによる観光PR、各県観光ブースでの各県レディ・観光連盟等の職員によるお薦めのスポット案内・旅行相談、名県産品が当たる各県観光クイズ大会、スタンプラリーの実施とともに、九州7県合わせて19のお店に出店いただきました。

イベント開催に先立ち、テレビ新広島において、テレビCM35本、朝の情報番組「ひろしま満点ママ！！」で開催前の7日間にわたり九州各地の観光地・特産品のPRを行いました。開催前日の15日には、同番組に九州各県レディ等が生出演して、イベント、各県観光の説明を行い、平均視聴率は9.0%（最高13.1%）となりました。

また、広島県城納副知事を表敬訪問しイベントのPRを行い、翌16日の中国新聞、産経新聞、読売新聞朝刊に記事が掲載されました。

さらに、イベント初日は「知りため！プラス」の生番組による周知を行うとともに、特設のホームページでPRを行いました。（ページビューは前年比79.1%の10,676）2日間で12.8万人の参加があり、九州が一体となって誘客に取り組んでいる姿をアピールすることが出来ました。



○ 韓国マスコミ及び旅行会社等を招請（2月17日～22日：長崎・熊本・宮崎・鹿児島・福岡）

九州オルレ第二次コースのコースオープンにあわせ、韓国の主要マスコミ及び旅行会社等35名を招請したファムツアーを実施しました。韓国市場の新たな観光素材のひとつとして、韓国のトレッキング愛好者へ九州の豊富な観光資源に直接アピールするほか、現地旅行会社との連携促進に努めました。九州オルレコースは、今回の第二次コース発表により全8コースとなり、より周遊性が高くなり、今後の誘客に期待できます。



○ シンガポール・海外旅行博へ出展「NATAS Travel 2013」(2月22日～24日:シンガポール)

年2回(8月及び2月)に開催されるシンガポール最大の一般消費者向けの旅行販売フェアに出展するもので、九州の豊富な観光資源をシンガポールの消費者に直接アピールするほか、現地旅行会社との連携を深めて、九州旅行商品の売上増に努めました。



○ 九州・沖縄観光物産展への出展(2月23日～24日:大阪)

九州各県の在阪事務所(九州各県協議会)が主催する「九州・沖縄観光物産展」に出展をしました(九州観光推進機構共催)。23日は降雪の悪天候でしたが、24日は天候も回復し、約45,000人の来場者がありました。

「観光PRブース」では、観光ポスターの掲出やパンフレット展示のほか九州への航空券や特産品があたるクイズ&アンケートを実施し、約2,000人の来場がありました。当日行ったアンケートでは、多くの方が九州に関心を持ったとの声をいただきました。また、観光PRブースや観光PRステージでは、九州への航空機利用を促す「よかよかエアラインズ」事業のPRも行いました。

また、会場には、九州・沖縄のB級グルメや特産品の販売ブースが並び、九州各県のゆるキャラも大集合し、大いに盛り上がり、効果的な九州の情報発信ができたと考えています。



○ 2014年1月～3月目黒雅叙園で開催の「九州ひな紀行」事前取材・撮影ツアーを設定・同行

(2月25日～3月1日:九州7県)

2014年1月24日～3月3日まで目黒雅叙園百段階段(東京都指定有形文化財)で開催する「九州ひな紀行」の目黒雅叙園の事前取材および出展予定のひな人形の撮影ツアーを設定し、同行しました。

出展予定地区が九州7県12地区と広範囲で、非常にハードなスケジュールではありましたが、事前の調整を綿密に行っていたこともあり、全地区予定どおり取材および撮影を終えることが出来ました。

今後は11月下旬から12月上旬にかけての美術梱包による運搬事前打ち合わせと1月中旬の実際の運搬および会場設営のスケジュールを経て、1月24日からの開会を迎える予定です。

来年度ではありますが、当イベントの開催後の九州ひなのブランド力向上および九州への誘客増加が期待されます。



○ 台湾・個人旅行向けガイドブック発行(2月:台湾)

MOOK出版が、個人旅行向けガイドブック「自遊人」シリーズの一冊として、「九州自遊人」を台湾で発行しました。平成23年10月に同社が発行したぶらぶら遊びシリーズの「日本九州」のために同年8月に取材した内容に加え、今回新たに平成24年11月15日～21日に九州取材を敢行した成果が反映されており、特に九州内の移動手段が詳細に紹介され、台湾の読者のニーズに応えた一冊となりました。



○ 文藝春秋社への広告出稿（2月）

文藝春秋社「文藝春秋」に九州オルレの国内認知度を高めるため広告出稿を行いました。天草・維和島コースを実際に歩き詳細を紹介したほか、他の既存3コースの詳細と問い合わせ先を掲載し広く九州オルレについて情報発信することができました。

読者層もオルレのターゲットとなる40代以上の男女がメインであり効果的な広告により参加者、問い合わせの増が期待されます。

※ 文藝春秋社「文藝春秋」3月特別号（2月10日発売）、64万部発行



○ 香港旅行雑誌「ウィークエンドウィークリー」への広告出稿（2月）

香港の有力な週刊の旅行雑誌「新假期 Weekend Weekly」（発行部数12万部）から、2月18日号の別冊として発行した「Travel Preview 2013」（A4版、本体108ページ）内において、必須訪問先の一つとして九州を取り上げたいとの企画提示があり、これを受け各県から提供された地元のトピックについて、4ページにわたって広告出稿を行いました。



◆ 九州観光推進機構からのお知らせ

○ 新入会員企業のご紹介

新たに次の企業が会員になりましたので、お知らせいたします。（敬称略）

・シーアイティーエス・ジャパン株式会社 福岡支店

所在地 福岡市博多区博多駅前3丁目21番15号 SSビル7階

代表者 支店長 趙 巍

○ 機構ホームページリニューアルのお知らせ

現行の会員ページを新たに「九州観光推進機構ページ」としてリニューアルいたします。

活動報告、今後の活動予定等を随時掲載します。

アドレス：<http://www.welcomekyushu.jp/kaiin/>

《本件問い合わせ先：企画部 杉島 s-sugishima@welcomekyushu.jp》

○ 3月以降の主な事業

- ・ITB Berlin への参加(3月6日～8日:ベルリン)
- ・「日台教育旅行交流座談会」への参加(3月福岡)
- ・2012年度「第3回評議員会」開催(3月15日:福岡)
- ・トラベルガールズフェスタ2013(3月25日:東京)
- ・2012年度「第3回理事会」開催(3月25日:福岡)

◇◇お問い合わせ先◇◇

九州観光推進機構 企画部 佐藤

TEL：092-751-2943

E-mail：info@welcomekyushu.jp